

平成31年度  
 劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
 (地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)  
 成果報告書

団 体 名	公益財団法人筑後市文化振興公社	
施 設 名	サザンクス筑後	
助 成 対 象 活 動 名	普及啓発事業	
内定額(総額)	2,129	(千円)
公 演 事 業	0	(千円)
人 材 養 成 事 業	0	(千円)
普 及 啓 発 事 業	2,129	(千円)





(3) 平成31年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	サザンクス筑後アウトリーチ事業 「学校&地域アウトリーチプログラム～こどもを育てるアートのカ～」 (第9期)	平成31年5月～令和2年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【「表現・コミュニケーション・演劇プログラム」「発表会等のための演劇プログラム」「劇あそび・身体表現プログラム」「ダンス体験プログラム」】 富安美沙子・木内里美・松田真美・仮屋園修太・福園宏美・古賀今日子・大竹謙作・守田慎之介・中川歩・福田修志・田中俊介・松本恵・高松由・上元千春・久保田力・松岡優子</li> <li>●【パントマイム体験プログラム】 長谷川天晴・坪内晋司・富安美沙子</li> <li>●【サクソフォン四重奏体験プログラム】 九州管楽合奏団</li> <li>●【人形劇体験プログラム】 西川貞一</li> <li>●【コンタクト・インプロビゼーション体験プログラム】 鹿島聖子・勝部知子</li> <li>●【子どもの権利条約31条ワークショッププログラム】 増山均・大屋俊朗</li> <li>●【ジャズ with 英語体験プログラム】 オフセンター</li> </ul>	目標値	5,000
		筑後市内小学校・保育園・幼稚園・社会福祉協議会・サザンクス筑後等		実績値	6,956
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価
社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。
<p>サザンクス筑後の設置目的は次のようになっています。</p> <p>「サザンクス筑後は、概ね市民の生涯学習、芸術文化の向上、及び市民福祉推進に関する事業を行うほか、市民の各種集会その他催し物の利用に供するため、筑後市が設置した施設である。サザンクス筑後が担う役割は、市民の文化芸術の振興及びコミュニティの促進を図り、もって市民福祉の増進と豊かな地域社会の形成に寄与するため、単に高い専門性を持つ施設、質の高い設備を提供するだけでなく、鑑賞や創作事業を開催し、地域の環境づくりに努めるなど、サザンクス筑後を拠点として文化向上につながるまちづくりを目指し、筑後市という地域における文化芸術拠点として機能を発揮することである。」</p> <p>施設の設置目的に則って文化芸術の裾野の拡大を図りながら、芸術によってまちづくりの基盤となる豊かな人間形成とコミュニケーションを目指すものを普及啓発事業に位置付けています。</p> <p>平成31年度（令和元年度）においてはこの普及啓発事業として筑後市内にある小学校全11校での「表現・コミュニケーション・演劇」「劇遊び・身体表現」「ダンス体験」の各アウトリーチ事業、筑後市内の幼稚園・保育園16園での九州唯一のプロ吹奏楽団「九州管楽合奏団コンサート」・パントマイムの愉快的「コミカル・バラエティ・ショー」、社会福祉協議会との連携で実施した「西川禎一人形劇公演」、地域において触れる機会の少ない「こどもの権利条約に関するシンポジウム」や「コンタクトインプロビゼーションワークショップ」。合同鑑賞事業の一環としては「ジャズ WITH 英語体験プログラム」を実施いたしました。ほか31年度は補助対象事業には該当させてはませんが、(株)イーケイジャパンとの共同により子どもたちの科学への関心と創造性を引き出す「STEAM教育体験講座」。夏休みの体験型ワークショップ事業として「木のおもちゃづくり」や「人形劇体験」「ピアノ解体SHOW」等、多種にわたる事業を行いました。</p> <p>小学校、幼稚園、保育園、社会福祉協議会とは従前どおり連携し、綿密な打ち合わせを重ねつつ、本年度は学校アウトリーチ事業等において九州各地で活動する芸術家を招き、サザンクス筑後の今後の事業展開に協力が期待できるネットワーク形成も同時に図りました。</p>
助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。
<p>不登校の子どもたちが通う「教育支援施設スマイル」においてもアウトリーチ活動を3年前から継続しています。参加人数は3.4人程度ではあっても、学校ではなかなか集団に馴染めない子どもたちが、「演劇プログラム」等の文化芸術活動を体験することにより、日ごろは見られない笑顔が見られ、少しずつですが自己表現や、他者と関係づくりを取り戻していき、翌年度になると学校に行けるようになった等の話も出てきています。ひとりひとりの子どもたちにある未来は、社会で如何に生きていくか。この社会でどんな仕事につき、働くことの喜びを、子ども時代に如何に見出ししていくかです。それは将来の日本の経済に大きな影響を与えていくものです。誰一人変わらない同じ命を授かった子どもたちに、平等に文化芸術体験の機会を提供していくことこそが、日本社会並びに日本経済においても重要な役割を果たしていると考えます。</p> <p>アウトリーチでお伺いしている学校の中には毎年、人権劇に取り組んでいる学校があります。ここはその土地の歴史から6年生は人権劇に取り組むのが常になっています。近くには親元を離れて暮らす子どもたちが通う分校があり演劇はこの2校が一緒に取り組みます。本年度は3回にわかって演技の指導に入りました。発表会前日の、本校分校の垣根もなく全員で一丸となって演劇を作り上げた自信に満ち力強く成長した子どもたちの姿は先生方を含め、そこにいた全ての人の胸を打つものでした。</p> <p>また子どもたちだけではなく高齢者を対象にした西川禎一人形劇公演を、社会福祉協議会との連携で実施しています。同年代の西川氏の舞台にご覧になっていた方々は励まされ、劇中で戦前、戦中の歌を歌う西川氏にあわせて自然と口ずさみ、当時にタイムスリップしたかのようなひと時でした。</p>

## (2) 有効性

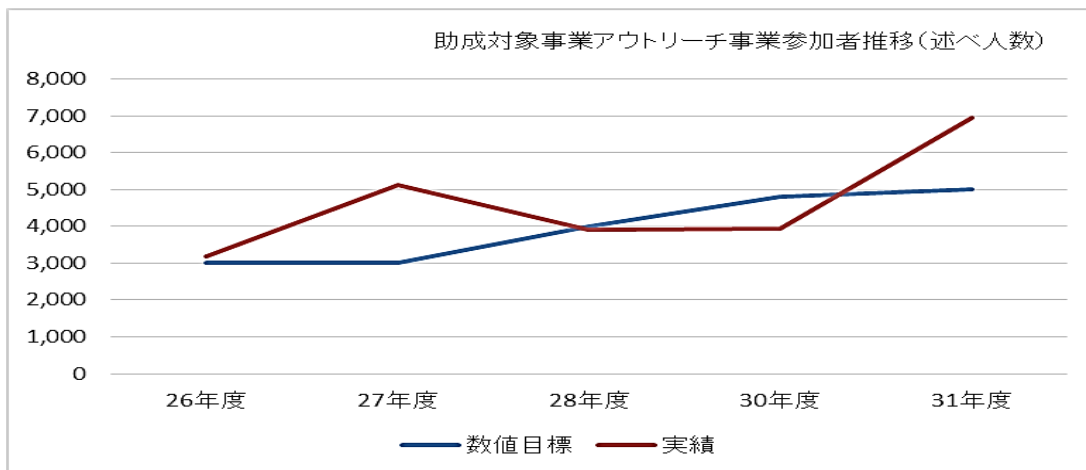
### 自己評価

目標を達成したか。

今回、助成対象となっている当財団の普及啓発事業への参加者は、小学校アウトリーチ事業 2113 名、幼稚園・保育園アウトリーチ事業 3508 名、人形劇体験プログラム 285 名、コンタクトインプロビゼーションワークショップ 35 名、子どもの権利条約 35 名、ジャズ with 英語体験プログラム 980 名で 6,956 名。助成対象外の STEAM 教育体験講座 1030 名ほかの事業で 3,080 名。合計 10,036 名（延べ人数）となっています。うち、助成対象事業のアウトリーチ事業の参加者数は下記の表、並びにグラフのように推移し、本年度の参加者は目標の 5000 人を超え、139%の達成率となっています。

《アウトリーチ事業参加者数推移》

年度	26年度	27年度	28年度	30年度	31年度
数値目標	3,000	3,000	4,000	4,800	5,000
実績	3,194	5,130	3,899	3,923	6,956
%	106%	171%	130%	98%	139%



本年度は初の取り組みとして九州各地でアウトリーチ事業に取り組んでいる演劇人をファシリテーターとして招きました。子どもたちのアウトリーチ事業終了後に寄せられた感想を読むと、アウトリーチ事業が単に「楽しかった、面白かった時間」に終わらず、ファシリテーターがその時間で大切に子どもたちと共有したかったことが十分に子どもたちに感じてもらえていることが見て取れました。

《アウトリーチ事業に参加した感想》

【協力、協調、ひとを思いやること、コミュニケーションの大切さを感じる】

あんまり話したことがなかった人でさえもなかよくなれたしうれしかった。／ともだちとはなしあうとばめんがじょうずになりました。／ともだちとはなしあえばくふうがいつもよりじょうずにできました。／みんながルールをまもれたからぜんぶたのしかったしおもしろかったです。／自分たちで劇を作ってみんなと協力できたから仲が深まったと思います。／くらすのみんなとなかよくできたところがうれしかったです。

【自信を身に着けチャレンジする心を育む】

アドバイスをもらいだんだん声も大きくなり自信もついてきました。人権劇が近づくころにはもうかんぺきというくらいでした。本番でもその成果を出してよくできました。／私はこの人権劇で学んだことを今後の生活にいかしていきたいと思いました。また、この劇をできたうれしさを大切にしていきたいです。／ぼくたちのげきをかんぺきにしてくださって本当にありがとうございます。／演劇のことをぼくたちに教えてくださってありがとうございます。おかげで人権劇が大成功でした。ぼくはこれから差別しない人になります。

【芸術文化の芽を育む】

しょうらいのゆめがもう一つできました。／さいしょはダンスをおどるのがはずかしくていやだったけれど、ずっとおどっているとぜんぜんはずかしくなくなって、ぎゃくに楽しくなってダンスがすごくすきになりました。／自分だけの世界に入っていった。／目と目で伝えるのがすごいし、目と目で伝えあえたからうれしかったです。／わたしは、さいみんじゅつゲームが一ばんたのしかったです。わけは、ふしぎでこころの中がからっぽになったきがして、あのときだけきもちがわかったからです。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

普及啓発事業の特にアウトリーチ事業については関連する学校、幼稚園、保育園からの要望（実施内容、子どもたちの実態、スケジュール）を聞き取り調査を行ったうえで計画、実施しています。STEAM 教育体験講座、ならびにコンタクトインプロビゼーションワークショップについては夏休みの子ども向け事業として実施し、STEAM 教育体験講座の方はお申し込みが殺到しすぐに定員に達する人気講座でした。夏休みにはほかにも劇場探検ツアー、えんげきワークショップ、福岡県と共催するコンテンポラリーダンス（（一財）地域創造から助成を受けているAIR事業）のワークショップ、絵画教室、書道教室等、サザンクス筑後で子どもたちが参加できるプログラムを多数用意し、小学校では筑後市内の学校全校でアウトリーチ事業を通年で実施するという形態をとっていますので、1年を通して子どもたちにアプローチをしていることとなります。子どもたちへの芸術文化の振興という意味では現状の中では最善であると考えていますが、限られたマンパワーで継続していくためには事業評価を適切に行い、若干の整理を検討したいとも考えているところです。

事業費については、公益目的事業剰余金の関係も併い、市民への還元目的も含めて拡充。地元、福岡の演劇人だけではなく、長崎、熊本、宮崎、鹿児島島の演劇人をアウトリーチ事業のファシリテーターとして招いたために例年より支出が110万円程増加（助成対象外の事業も加えると150万円程度増加）しています。独自予算では非常に困難ですが劇場・音楽堂等機能強化推進事業に助成を受けることができたため、サザンクス筑後と今後さらに地域で中核を担うことが期待される演劇人とのネットワークを形成することができ、それぞれのファシリテーターが持つ特色ある多様なプログラムの提供が可能になりました。

#### 令和元年度サザンクス筑後学校アウトリーチ事業 実施一覧表【学校別】

##### A. 通常プログラム

【8コマ】

学校名	回数	実施日	時限	時間	学年・組	人数	分数	プログラム	コマ数
古島小学校	1回目	5月31日(金)	3・4限	10:40-12:15	3年1組・4年1組	28	90	表現・コミュニケーション・演劇	8
	2回目	6月14日(金)	5・6限	14:00-15:35	3年1組・4年1組	28	90	表現・コミュニケーション・演劇	
	1回目	10月17日(木)	3・4限	10:25-12:00	1年1組・2年1組	24	90	表現・コミュニケーション・演劇	
	2回目	11月6日(木)	3・4限	10:40-12:15	1年1組・2年1組	24	90	表現・コミュニケーション・演劇	
羽犬塚小学校	1回目	5月9日(休)	1・2限	8:30-10:05	4年3組	27	90	表現・コミュニケーション・演劇	14
	1回目	5月9日(休)	3・4限	10:25-12:00	4年4組	28	90	表現・コミュニケーション・演劇	
	1回目	5月10日(金)	3・4限	10:45-12:20	4年2組	29	90	表現・コミュニケーション・演劇	
	1回目	5月10日(金)	5・6限	14:10-15:45	4年1組	27	90	表現・コミュニケーション・演劇	
	1回目	5月23日(木)	3・4限	10:25-12:00	3年2組	34	90	表現・コミュニケーション・演劇	
	1回目	5月24日(金)	3・4限	10:45-12:20	3年3組	34	90	表現・コミュニケーション・演劇	
筑後北小学校	1回目	6月4日(火)	3・4限	10:40-12:15	5年2組	27	90	表現・コミュニケーション・演劇	8
	1回目	6月4日(火)	5・6限	14:05-15:40	5年1組	28	90	表現・コミュニケーション・演劇	
	2回目	6月7日(金)	1・2限	8:45-10:20	5年2組	27	90	表現・コミュニケーション・演劇	
	2回目	6月7日(金)	3・4限	10:40-12:15	5年1組	28	90	表現・コミュニケーション・演劇	
下妻小学校	1回目	6月17日(月)	2・3限	9:35-11:25	1年～3年	34	90	ダンス体験	4
	2回目	7月5日(日)	2・3限	9:35-11:25	1年～3年	34	90	ダンス体験	
水洗小学校	1回目	7月4日(休)	1・2限	8:30-10:05	3年1組	24	90	表現・コミュニケーション・演劇	4
	1回目	7月4日(休)	3・4限	10:25-12:00	4年1組	31	90	表現・コミュニケーション・演劇	
松原小学校	1回目	6月19日(水)	5限	14:05-14:50	1年、2年	122	45	ショー	11
	1回目	10月2日(水)	1・2限	8:30-10:05	3年1組	35	90	ダンス体験	
	1回目	10月2日(水)	3・4限	10:25-12:00	3年2組	35	90	ダンス体験	
	1回目	10月3日(木)	1・2限	8:30-10:05	4年1組	24	90	ダンス体験	
	1回目	10月3日(木)	3・4限	10:25-12:00	4年2組	24	90	ダンス体験	
三川小学校	1回目	10月4日(金)	3・4限	10:25-12:00	4年3組	25	90	ダンス体験	2
	1回目	9月26日(木)	2・3限	9:40-11:30	1年	37	90	劇あそび・身体表現	

西牟田小学校	1回目	9月10日(火)	1・2限	8:30-10:05	5年1組・2組	36	90	表現・コミュニケーション・演劇	12
	1回目	9月10日(火)	3・4限	10:25-12:00	6年1組・2組	43	90	表現・コミュニケーション・演劇	
	1回目	9月12日(木)	1・2限	8:30-10:05	1年1組・2組	37	90	劇あそび・身体表現	
	1回目	9月12日(木)	3・4限	10:25-12:00	2年1組	35	90	劇あそび・身体表現	
古川小学校	1回目	9月13日(金)	1・2限	8:45-10:20	3年1組	34	90	表現・コミュニケーション・演劇	4
	1回目	9月13日(金)	3・4限	10:40-12:15	4年1組・2組	45	90	表現・コミュニケーション・演劇	
	1回目	10月29日(火)	3・4限	10:35-12:10	1年1組・2年1組	28	90	劇あそび・身体表現	
水田小学校	1回目	10月30日(水)	3・4限	10:35-12:10	3年1組・4年1組	21	90	ダンス体験	8
	1回目	11月15日(日)	1・2限	8:45-10:20	6年1組	28	90	発表会等のための演劇	
筑後小学校	1回目	11月15日(日)	3・4限	10:40-12:15	6年2組	25	90	発表会等のための演劇	12
	2回目	11月22日(日)	1・2限	8:45-10:20	6年1組・2組	53	90	発表会等のための演劇	
	3回目	11月29日(日)	1・2限	8:45-10:20	6年1組・2組	53	90	発表会等のための演劇	
筑後小学校	1回目	1月20日(月)	3・4限	10:40-12:15	4年1組・2組・3組	80	90	ダンス体験	12
	1回目	1月20日(月)	5・6限	14:10-15:45	6年1組・2組・3組	89	90	ダンス体験	
	1回目	1月27日(日)	1・2限	8:45-10:20	3年1組・2組	68	90	ダンス体験	
	1回目	1月27日(日)	3・4限	10:40-12:15	5年1組・2組・3組	76	90	ダンス体験	
	2回目	1月28日(火)	2限	9:35-10:20	3年、4年	148	45	ダンス体験	
	2回目	1月28日(火)	3限	10:40-11:25	5年、6年	165	45	ダンス体験	
	2回目	1月31日(金)	3限	10:40-11:25	3年、4年	148	45	ダンス体験	
	2回目	1月31日(金)	4限	11:30-12:15	5年、6年	165	45	ダンス体験	

■表現・コミュニケーション・演劇：44コマ / ■演劇：8コマ / ■ダンス体験：28コマ  
■劇あそび・身体表現：6コマ / ■鑑賞：1コマ

2019.10.23時点

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

サザンクス筑後の指定管理者である公益財団法人筑後市文化振興公社には文化芸術に精通する以下の人材を配置しています。

斎藤豊治（サザンクス筑後館長／総合芸術監督）

九州大谷短期大学教授。ハーモニーランド顧問。サンリオエンターテイメント顧問。県民文化祭オープニングフェスティバル監修・演出、国民文化祭の構成・演出、サザンクス筑後では開館当初より記念事業のミュージカル等の構成・演出を手掛ける。平成 29 年に館長就任。ふくおか県民文化祭副実行委員長、大牟田・久留米等の文化芸術振興審議会委員も務める。平成 23 年、福岡県文化団体連合会文化貢献者表彰、久留米市芸術奨励賞受賞。

久保田力（公益財団法人筑後市文化振興公社事務局長）

開館当初よりサザンクス筑後のこどもためのえんげきひろば等の市民参加事業にアーティストとして関わる。平成 16 年職員となり、事業・管理部門を統括。アウトリーチ事業総合プロデュース、市民創作演劇・ミュージカル等脚本・演出も手掛けている。平成 12 年全国児童演劇協議会・奨励新人賞受賞。

松岡優子（公益財団法人筑後市文化振興公社事業係長）

俳優、演出家、制作者、ダンサー。平成音楽大学講師。2018 年解散まで劇団ゼロソーに所属。SASHIYORI Art Revival Connection KUMAMOTO 代表。北九州&アジア全国洋舞コンクール入選。香梅アートアワード奨励賞受賞。タイトルロールを演じた「音楽劇アグネス」はくまもと県民文化賞（年間活動部門）受賞。脚本、演出を手掛けた熊本オペラ芸術協会「砂浜のエレジー」は熊本芸術文化学術振興市民財団奨励賞受賞。平成 28 年までは（公財）熊本県立劇場に在籍。平成 30 年度より現職。熊本在住。

上記のようにクリエイションとアートマネジメントができる人材を確保することで、限られた予算の中でも質の高いクリエイションを可能にしています。

平成 23 年から取り組み始めた公社のアウトリーチ事業は、児童演劇に長年携わってきている事務局長、並びに、サザンクス筑後の保有するこども劇団「こどもためのえんげきひろば」に指導者として関わってきた専任のアーティストがファシリテーターを務めています。ここにさらに平成 31 年度からそれぞれのネットワークを活用して福岡、長崎、熊本、宮崎、鹿児島からファシリテーターを招くことでより多彩なアウトリーチプログラムの提供が可能になっています。本来であれば下見、打ち合わせをファシリテーターが同席のもと行うことが望ましいですが、限られた予算の中で多くのアウトリーチ事業を展開するために演劇に精通する職員が代わって打ち合わせを実施することで予算を抑えています。また職員自らがファシリテーターやアシスタントとして現場に入ることで、自分たちの住むマチの劇場に行けば、子どもたちがアウトリーチで出会ったアーティストがいるという環境にもなっています。



自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

他地域からアウトリーチ事業に協力していただく演劇人を招くにあって、ファシリテーターの経験を持ち、今後更に九州の演劇を牽引していく 30 代～40 代のアーティストを中心に依頼いたしました。次年度以降の展開も見越して、広く優れた人材とつながりアウトリーチを通じて当財団とアーティストで意見しあえる関係を築くことを狙いとしていました。

氏名	肩書き	所属	地域
古賀今日子	俳優	フリー	福岡
あべゆう	俳優	こふく劇場	宮崎
福田修志	作家・演出家	F' s Company	長崎
守田慎之介	作家・演出家	いすと校舎	行橋
仮屋園修太、福藺宏美	作家・演出家・俳優	劇団 LOKE	鹿児島
きないさとみ	俳優	劇団ちゃぶ台	熊本

平成 23 年度から取り組んでいるアウトリーチ事業は本年度を経て令和 2 年度に 10 年目を迎えました。令和 2 年 3 月からサザンクス筑後がある福岡県でも新型コロナウイルス感染拡大が深刻なものになっていき、休校期間が長引いた学校でのアウトリーチ事業の実施は令和 2 年度は望めないものと公社としては考えていました。しかしながら、アウトリーチ事業の見送りの判断をした学校は筑後市内 11 小学校中、現在のところ 2 校のみ。殆どの小学校からは予定通りの実施の回答を得ています。感染症の流行という非常時であれ、感染対策を講じながらもアウトリーチ（芸術体験）が実施できる想像もしなかった学校からの要望に、芸術が教育現場に当たり前のようである環境が構築されていることに初めて気づきました。感染症の流行は決して喜ばしいことではありませんが、この新型コロナ禍で当財団が継続してきたアウトリーチ事業が教育現場でも意義を感じていただけていたことを確信することができました。

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

本年度は新規採用した職員のネットワークも活用し、アウトリーチ事業のファシリテーターとして多くの他地域のアーティストを招きました。地域の優れた芸術家とのネットワーク形成もその大きな理由のひとつでしたが、結果、それらのアーティストを通して公社が主催する事業を広く知っていただく情報発信につなげることもできました。多彩なキャラクターの演劇人のアウトリーチ事業を実施を通して、ファシリテーター毎にたとえ同じプログラムであっても子どもたちが体験を通して感じるものが異なり、立ち会った公社の職員がアウトリーチの意義と多くのアウトリーチの手法を深く理解することにもつながっています。次年度以降はよりアーティストの特性、得意とすることを理解した上でのコーディネートが可能になると思われます。

新型コロナウイルスの影響が続く令和2年度は事業の展開は非常に困難で、開館にあたっては細心の注意が求められています。このような状況下で、外部のアーティストとの連携を深められていた本年度の延長でアウトリーチ事業を実施できることは職員がファシリテーターを兼ねている当財団としてはマンパワー不足を補うことにもなります。アウトリーチ事業のみに限らず、新型コロナウイルス禍によって収入を絶たれたアーティストの支援を少ない予算ながら検討している当財団としては、できる限り事業を中止にすることなく多くのアーティストと強く連携することを目指しています。

当財団内部の組織の点でいくと、前述のとおり限られた職員数の中でクリエイション、アートマネジメントについては豊富な経験を有する人材を登用しています。当財団でアートマネジメント業務に初めて携わった職員は（一財）地域創造が主催する研修事業「ステージラボ」に派遣するなどの研修の場を設けています。またそれぞれの職員の適性を見極め、柔軟な異動と業務分担を図っているところです。

（一社）芸術と創造が先日実施していた「舞台芸術に関わるマネジメント専門人材の労働環境実態調査 2019」を見ても、アートマネジメント人材を含むこの文化芸術業界の労働環境は相当に厳しいものがあります。やりがいと心の支えにアートマネジメントに関わる人材は疲弊してこの業界を去っていくという傾向も見取れます。新型コロナウイルス禍においては、基本的に剰余金を認められない公益財団法人であり、施設使用料が当財団の収入となる利用料金制が適用されている指定管理者という立場の当財団は組織活動を継続するための経済基盤としては非常に厳しい状況です。施設の設置者である自治体への補助を求めているところではありますが、この間も文化芸術の提供の場を保持しようとする当財団へ寄付を申し出てくださる有識者の方に非常に励まされました。当財団が組織として強化、改善が可能なところ引き続きの対応に努め、外部の有識者やアーティストとの協力関係を更に深めていきたいと考えています。